

名付けて

もりおかの元気を引き継ぐ 子ども子育て応援予算

28年度 盛岡市の 予算

28年度の当初予算が決まりました。27年度にスタートした市総合計画の推進、特に、子育て応援や岩手国体開催などに重点的に取り組む予算となりました。その概要をお知らせします。【問】財政課 ☎613-8362

■予算編成にあたって

28年度の市の歳入は、市税収入や地方消費税交付金の増額が見込まれるものの、地方交付税は減額が見込まれ、全体として伸びが見込めない状況です。歳出は、扶助費や介護保険費特別会計への繰出金などの社会保障経費のほか、岩手国体に関連する経費などの増が見込まれるため、必要な財源を確保するために事業の見直しや事業費の総点検を行ったほか、「戦略プロジェクト」事業への優先配分により、財源の有効活用に努めました。

■市の予算総額

28年度の予算総額は1723億5961万円。27年度と比べ14億3451万円、率にして0.8%の増加です。内訳は表のとおりです。

表 28年度の予算総額

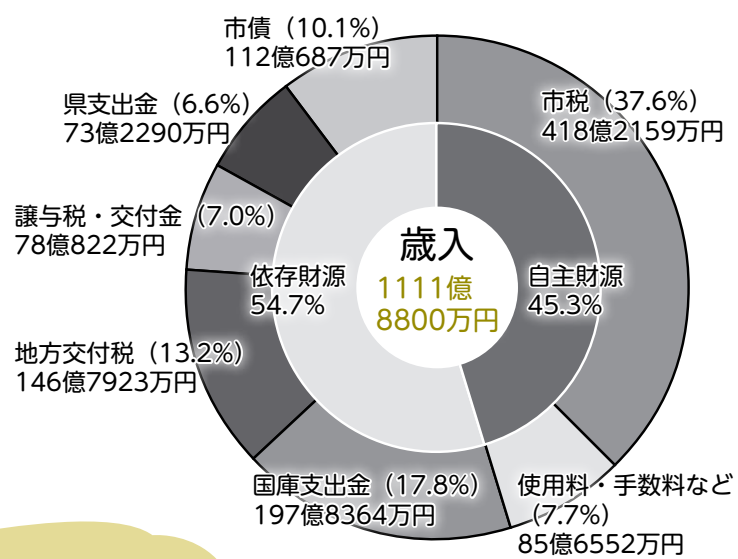
会計		28年度	27年度	増減	伸び率
一般会計		1111億8800万円	1113億3000万円	▲1億4200万円	▲0.1%
特別会計	国民健康保険費	316億4850万円	316億2554万円	2296万円	0.1%
	介護保険費	244億 811万円	227億2016万円	16億8795万円	7.4%
	後期高齢者医療費	28億9316万円	28億6445万円	2870万円	1.0%
	中央卸売市場費	16億1473万円	16億3093万円	▲1619万円	▲1.0%
	農業集落排水事業費	5億1776万円	5億3130万円	▲1353万円	▲2.5%
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	6413万円	7577万円	▲1163万円	▲15.4%
	土地取得事業費	1331万円	1億1143万円	▲9812万円	▲88.1%
	公設浄化槽事業費	849万円	3210万円	▲2361万円	▲73.6%
	東中野財産区	267万円	267万円	0万円	0.0%
	東中野、東安庭、門財産区	70万円	70万円	0万円	0.0%
計		1723億5961万円	1709億2509万円	14億3451万円	0.8%

※各項目とも1万円未満切り捨て。増減や計などが一致しない場合があります

■一般会計の当初予算

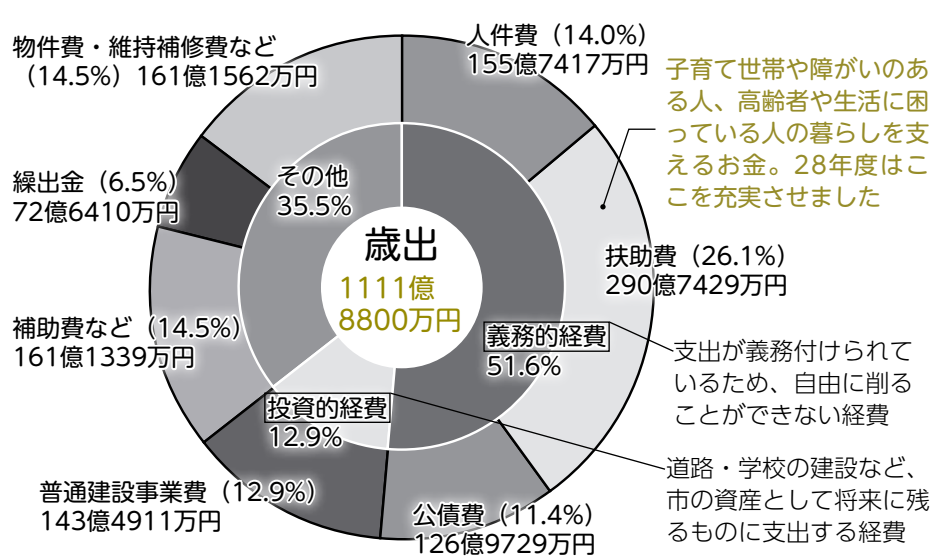
子ども・子育て事業に係る扶助費や国体開催経費などが増額した一方、スポーツ施設の整備や小・中学校の耐震補強工事の終了による普通建設

事業費が減額したため、総額では1億4200万円、率にして0.1%減となり、過去最大だった27年度とほぼ同規模の予算になりました。



歳入の自主財源は、市税のほか、基金からの繰入金や分担金、負担金が増加し、前年度に比べ17億7807万円（3.7%）増える見通し。

依存財源では、国からの交付金と県支出金が増える一方、地方交付税と国庫支出金が減るため、19億2007万円（3.1%）の減額が見込まれます。



歳出では、子ども・子育て事業の充実などにより扶助費が伸びたものの、職員人件費と借入金返済に充てる公債費が減るため、義務的経費は前年度に比べ0.3%減少。

また、アイスリンクなど国体開催に伴う施設整備と小・中学校の耐震工事の終了に伴い、投資的経費も減る見込みです。

「特別会計」
ってなに？

「一般会計」が、市税を主な財源にして、福祉や子育て、教育、施設整備など市のほとんどの事業を運営する基礎的な予算なのに対し、「特別会計」は、国民健康保険など、特定の収入でまかなう会計です。



1 子育て応援プロジェクト 27億7993万円



若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育て、盛岡に住みたい、住み続けたいと思える、子育てにやさしいまちをつくります。

子ども未来基金造成事業

市全体で子育てを応援するために基金を創設。子どもの健やかな成長に役立つ取り組みを支援／1億円

子育て世代包括支援センター事業

妊娠、出産、子育て期にわたる母子保健や育児に関するさまざまな悩みに、保健師らが面接や訪問などを通じて継続的に支援／1028万円

小学生医療費給付事業（通院分）

これまで給付していた小学生の入院費の一部に加え、通院医療費にも対象を拡大／1億4944万円

小学生インフルエンザ 予防接種補助事業

子どもに対するインフルエンザ予防接種を進めるため、助成対象を小学6年生まで拡大／1500万円

3つの「戦略プロジェクト」に重点配分

市総合計画が掲げる将来像「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現のためには、施策の枠を超えて取り組んだ方がより効果的な事業もあります。そうした事業を「戦略プロジェクト」としてまとめ、限られた財源を有効に使い、優先的に取り組んでいます。28年度当初予算でも、3つの戦略プロジェクトに重点的に配分しました。

【拡充】 私立児童福祉施設整備助成事業

私立保育所の新設や改築などに補助／3億6924万円

認定こども園等運営費給付事業

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、私立幼稚園から移行した認定こども園9園と新設される地域型保育事業所10カ所に、教育・保育費用を給付／11億4492万円

延長保育実施補助

延長保育を行う私立保育所や小規模保育施設などへ補助／1億2026万円

乳児家庭全戸訪問等事業

子育て世帯の孤立化防止と支援のため、生後4カ月までの乳児がいる全世帯を訪問／496万円

2 いわて国体おもてなしプロジェクト 18億6252万円

希望郷いわて国体・大会を成功させるとともに、来盛する人たちを「おもてなしの心」で迎え、盛岡の魅力を全国に発信。また、市民がスポーツに親しみ、健康でいきいきと暮らすまちをつくります。



【拡充】 第71回国民体育大会開催事業

大会の成功を目指し、市民総参加による「おもてなし」で盛岡の魅力を発信／15億4185万円

盛岡の食材プロモーション事業

競技会場での「食のおもてなし」など、盛岡の食材の魅力を発信。また、市内の飲食店や宿泊先などと生産者とのつながりを生み出し、地産地消を推進／368万円

【継続】 国民体育大会開催関連施設整備事業

競技会場の整備や修繕、アイスアリーナの総合アリーナ化を実施／2億3262万円

3 きらり盛岡おでんせプロジェクト 3477万円

市の恵まれた観光資源を活用し、盛岡ブランドを推進することにより、観光客や盛岡ファンを増やします。また、MICE*の誘致により交流人口を増やし、まちに活力を創出します。



【拡充】 観光客誘致宣伝事業

北海道新幹線開業にをきっかけに、盛岡の魅力をPRし観光客を誘致するため、函館市で開かれる食の大イベント「グルメサーカス」への出店と盛岡さんさ踊りの派遣を実施／153万円

盛岡三大趣普及事業

盛岡三大趣「わんこそば」「盛岡冷麺」「盛岡じゃじゃ麺」の普及を進めるため、20年ぶりに開かれる「ニッポンめんサミット」などへ負担金を支出／79万円

※MICE：企業の会議・研修や旅行、国際会議や学会・大会、展示会・イベントの総称

総合計画の4つの基本目標ごとの主な事業

1 人がいきいきと暮らすまちづくり

■年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業【新規】／1億1712万円

■児童手当支給事業／43億880万円

■後期高齢者医療給付費負担金／24億8700万円

■老人福祉施設整備助成事業／5億4727万円



2 人を育み未来へつなぐまちづくり

■学校施設防災対策事業【新規】／660万円

■（仮称）盛岡学校給食センター建設事業【新規】／880万円

■（仮称）見前南地区公民館整備事業／3億3944万円

■地球温暖化対策実行計画推進事業／1754万円（うち太陽光発電システム設置費補助金／1480万円）



3 盛岡の魅力があふれるまちづくり

■芸術文化活動振興事業／6682万円

（うち盛岡文士劇東京公演共催負担金【新規】350万円）

■市民運動公園整備事業／4億5415万円

■志波城跡保存整備・用地取得事業／6732万円

■スポーツ活動機会提供事業／781万円



4 人が集い活力を生むまちづくり

■もりおか元気応援寄附金推進事業【新規】／3738万円

■U・I・Jターン*就職支援事業【新規】／900万円

■農業・農村の持つさまざまな機能の維持・発揮を図る活動の支援事業／2億5599万円

■まつり・イベント振興事業／5513万円



※U・I・Jターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称